



経営方針

「健全なる積極進取」

私たちが大事にしている想い

山口フィナンシャルグループは、グループ役職員一同の力を結集して企業価値を高めていくために、「使命・存在意義 (パーパス)」・「将来のあるべき姿 (ビジョン)」を策定いたしました。従来のグループビジョンの考えや事業活動等を通して私たちが大事にしている想いを取り入れております。

未来志向

我々は、未来のため、未来を創るために在ること

共存志向

我々は単独では存続し得ず、常にステークホルダーとの共存関係、相互関係のなかに在ること

地域志向

我々は、常に地域のために在ること

CONTENTS

パーパス・ビジョン/目次・編集方針	1	財務・非財務ハイライト	27	〈重点項目4〉	
YMFのあゆみ	3	業績の状況	29	「事業領域拡大・収益力強化」に向けた挑戦	53
<b>マネジメントレター</b>		<b>価値創造のための事業戦略</b>		〈重点項目5〉	
トップメッセージ	5	YMF中期経営計画2022の概要	31	ガバナンス・内部統制強化(改善策の対応状況)	57
社外取締役座談会	13	〈重点項目1〉		<b>価値創造を支える力</b>	
<b>YMFについて</b>		地域共創サステナビリティ経営の推進	33	コーポレート・ガバナンス	59
YMFの概要	21	〈重点項目2〉		役員一覧	68
競争優位の源泉	23	グループ人材の活躍推進	45	リスク管理体制	74
価値創造プロセス	25	〈重点項目3〉		コンプライアンス体制	77
		「地域・お客さまへの提供価値最大化」に向けた探求	49	株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション	79

編集方針

山口フィナンシャルグループは、このたび、全てのステークホルダーの皆さまに当社の持続的な価値創造に向けた取り組みをご理解いただくため、「YMF統合報告書2022」を作成いたしました。編集にあたっては、国際統合報告評議会 (IIRC) が提唱する「国際統合報告フレームワーク」及び経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」等を参考にしております。

尚、本報告書には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。



# YMFGのあゆみ

我々は140年超の長きに亘る歴史の中で脈々と受け継がれてきた「健全なる積極進取」の精神を以て、地域のため、そして未来を創るために日々邁進してまいりました。  
山口、広島、北部九州を広域ネットワークで結び、グループの総合力を活かして地域の発展をさまざまな側面からサポートし、お客さまや地域の持続可能な未来を共に創り上げてまいります。

2006年10月設立

**業界に先駆け経営統合を実現**

昨今、地銀の経営統合が多い中、業界に先駆け、2006年に山口銀行ともみじホールディングス（もみじ銀行の持株会社）が経営統合し、YMFGが誕生しています。さらには2011年に北九州銀行も設立し、今の3行体制が構築されています。私たちは業界のフロントランナーとして常に走り続けています。

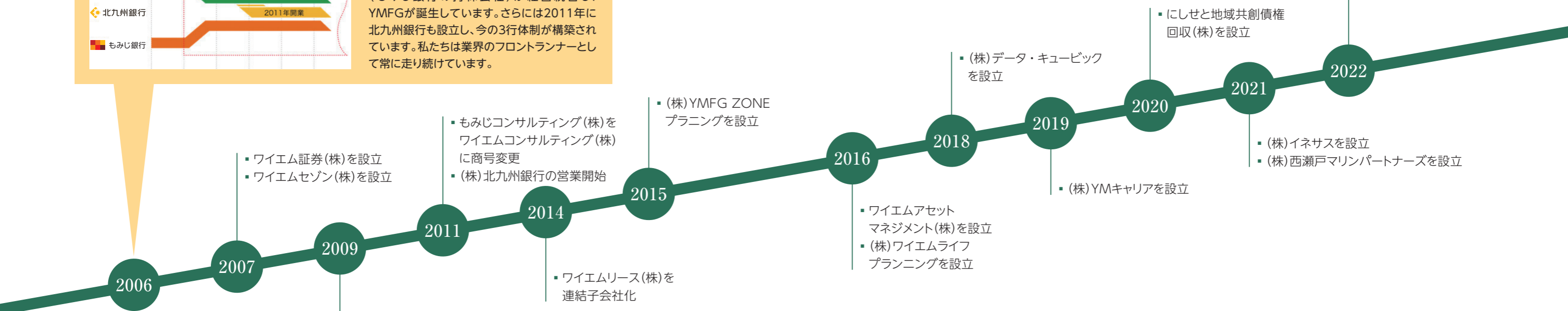


(株)山口フィナンシャルグループ(山口銀行現本店)

**YMFG中期経営計画2022**

「地域の持続可能性向上」と「YMFGの持続可能なビジネスモデル構築」を目指す

- 山口キャピタル(株)、地域商社やまぐち(株)、(株)KAIKA、(株)バンカーズファームを子会社化



## 山口銀行

**1878年 第百十国立銀行を創業**  
山口フィナンシャルグループの源流をなす山口銀行の前身である第百十国立銀行は1878年(明治11年)に創業されました。

**1944年 (株)山口銀行を創立**  
(百十、華浦、船城、大島、宇部の5行が合併、資本金1,345万円)



山口銀行旧本店

## もみじ銀行



もみじ銀行本店

**1923年 広島無尽(株)を設立**  
**1951年 相互銀行に転換、商号を(株)広島相互銀行に変更**  
**1989年 普通銀行に転換、商号を(株)広島総合銀行に変更**  
**2001年 株式移転により持株会社(株)もみじホールディングスを設立**  
**2004年 (株)せとうち銀行と合併し、商号を(株)もみじ銀行に変更**

## 北九州銀行



北九州銀行本店

**2010年 北九州金融準備(株)を設立**  
**2011年 商号を(株)北九州銀行に変更し、営業開始**